



## 「チーム医療」

### 3 コミュニケーションとチーム医療

#### (3) チーム医療

一般目標: チーム医療の重要性を理解し、医療従事者との連携を図る能力を身につける。

到達目標 1) 2) 3) 4)

⇒ 1) チーム医療はこの数年来急速に医療の共通の認識になった。医療構造が大きく変わろうとしている。「必要に応じて援助を求めることができる」という受動的な位置づけではなく、チーム医療の中核になる医師として積極的な意識を持てるような表現に変えるべきではないか。

2) 「チーム医療推進のための検討会」報告書(2010年3月19日)、および2010年4月30日医政発0430第1号医政局長通知「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」を参考にして改正すべきではないか。

# 医療従事者の 安全確保のために

抗がん薬の調製は薬剤師の仕事

3

## Warning by NIOSH

In 2004

医療環境において抗がん薬や他の危険な医薬品に医療従事者が被曝しないために

### 警告

医療環境において有害薬を扱ったり、近くにいる医療従事者は皮疹、不妊、流産、出産時障害を引き起こすし、白血病や他のがんを引き起こす可能性がある。

NIOSH: The National Institute for Occupational Safety and Health

(米国国立雇用者の安全と健康研究所)

4

PhaSeal System  
= Closed System

Possible to reduce  
the contamination  
by Gas.  
But not perfect.

↑ ↓  
パルメディカル

**高価!**  
Protector  
**1,100円** →  
Injector  
**960円**

揮発性の高い抗がん薬  
の調製にしか使えない。

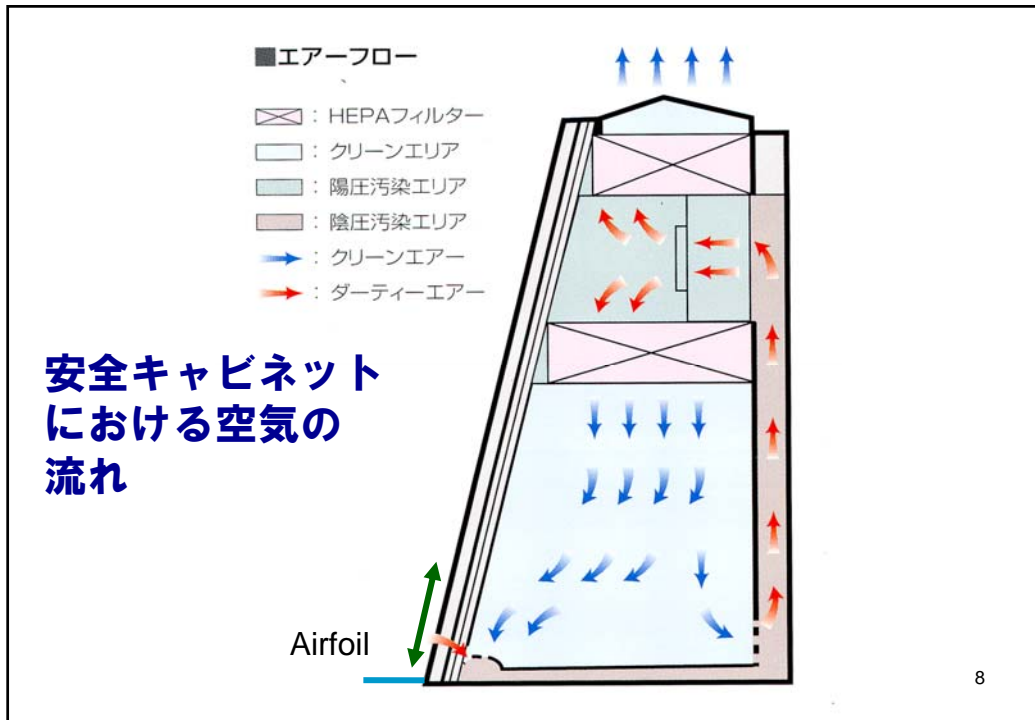
細胞培養の無菌操作と放射性同位元素による  
汚染防止技術の応用

フェイスシールド付きマスク、  
手袋、ガウン着用

病棟での調剤の様子



7



## 抗がん薬の混合に関する方針

癌治療に従事する医療人(医師、看護師、薬剤師、廃棄物処理担当者など)の安全を担保するために、全ての病院で環境(ventilated cabinetが必要)と閉鎖系器具の整備を行い、安全な手技の習得、必要な薬剤師数の確保をする必要がある。

閉鎖系器具を使えるように診療報酬が増点された。

抗がん薬の無菌混合はすべて薬剤師が責任を持って行なうべき仕事である。必要な薬剤師数を配置する。

医療従事者に情報提供して、被曝の実態について議論して、安全で適正な化学療法を行うべきである。

9

## カリキュラム A 基本事項 2 医療における安全性確保

### (3) 医療従事者の健康と安全

一般目標： 医療従事者が遭遇する危険性(感染を含む)について、基本的な予防・対処方法を学ぶ。

到達目標：

- 1) 医療従事者の健康管理の重要性を説明できる。
- 2) 標準予防策(Standard Precautions)の必要性を説明し、実行できる。
- 3) 患者隔離の必要性について説明できる。
- 4) 針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。

⇒ 癌患者の増加、がん治療薬の増加と複雑なレジメン、外来化学療法法の増加、一般病院の53%の病院で抗癌薬を取り扱っている。

⇒ 抗癌薬などハイリスク薬の取り扱いの基本を熟知している必要があることを明記する必要があるのではないか。<sup>10</sup>

- 1) チーム医療を実施して  
高度化する薬物療法に対処できる  
医師教育を希望します
- 2) 薬剤部における参加型臨床実習  
(少なくとも3日)が必要だと考えます。